

某市上下水道局 水質係
小瀬村 峻也

【まずは自己紹介】

松本研究室では、リチウムイオン二次電池の研究をさせていただきました。学会でポスター発表をしたり、他大学の研究室にお邪魔したりと、貴重な経験満載の1年間でした。

【現在の仕事内容】

主な仕事は、市内の水道水の採水、および簡単な水質検査です。週に1~2回、公園や一般家庭の蛇口から採水をしています。

右の写真は採水セットです。採水瓶（一般理化学用、細菌用）、気温計、水温計、残留塩素計、消毒用エタノールは欠かせません。

1日で5~6か所の地点で採水をします。



年に4回は、水質基準項目（51項目）全てを測定します。細菌類や金属類、農薬類など10種類以上の採水瓶があり、それぞれで採水方法（前処理試薬など）も違います。

理化学試験室にはICP、ガスクロマトグラフィー、分光光度計など、お馴染み(?)の分析機器が多数あり、それぞれ測定する担当者が決まっています。私の担当は一般理化学（濁度・色度、pH、硬度など）と全有機炭素（TOC）です。

分析機器だけでなく、人間の感覚でも検査を行います。それが“味”と“臭気”です。感覚は人によって異なるので、必ず複数人で異常がないことを確認します。

では、異常がない水道水はどんな臭いでしょうか？ 無味無臭?? 正解は塩素臭です。水道水は必ず残留塩素が含まれているので、塩素臭が全くしない場合は異常ということになります。

【学生時代にやっておくべきこと】

どんなことでもまずは挑戦してみることでと思います。その経験はどこかで必ず役に立つものだと思います。私自身も、正直なところ人前で話すのは苦手でしたが(笑)、それでも大学4年間で、サークル活動や研究室などでの経験を通して自信を持てるようになりました。私もまだまだ勉強中なので、色々と教わりながら経験を積んでいきたいと思っています！